

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に**誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標

合言葉を『三笠はひとつ、三笠はならのまほろば』とし、奈良の中心地としての文化・誇りを再確認し、新たな郷土愛や誇りを育む。

【今年度の取組紹介】

○子ども未来会議

今年度は「私たちのまちを盛り上げる活動（遊び）をかんがえよう！」をテーマに各小中学校で事前にアンケートを実施し意見を持ち寄ったのオンラインでの話し合いとなりました。当日は地域の方や大学生が司会を務め、小中学生が積極的に意見を出し合いました。話し合



いでは、お祭り（ものづくり・ゲーム・花火大会）、みんなで三笠校区清掃活動、古都奈良を歩こうスタンプラリー、人間オセロ（タッチ鬼ごっこ）、三笠校区運動会、脱出ゲーム（クイズを解きながら）などのたくさんの提案が出されました。

○おうちで楽しくチャレンジ（本の帯、「三笠エコスタイル」デザイン募集）

夏休みに、昨年子ども未来会議で決めた「わたしたちが考える環境を守るための4つのお約束」からイメージする「三笠エコスタイル」のデザインを募集しました。園児から児童・生徒までの幅広い子どもたちの参加があり、昨年に比べてたくさんの応募がありました。

各校での展示、広報紙での掲載に加えて、のぼり旗とポスターを作成し各校園で掲揚することができました。子どもたちの考えたデザインや地域の事業をより多くの方に知っていただく機会になりました。

【今年度のまとめ】

ここ数年は、新型コロナウイルスの影響により中止が相次ぎましたが、状況に応じて新しい提案・検討を繰り返してきました。できることを継続し、さらに発展させるように取り組んできました。

感染予防対策を講じて実施できたオンラインでの子ども未来会議では、将来の地域を支える人材交流の場が形成でき、子どもたちの育ちと学びを実感することができました。また、「おうちで楽しくチャレンジ」など継続した取組を地域への広報活動としても生かすことができるなど、よりよい活動の内容に発展させられました。

【来年度に向けて】

来年度は、新型コロナウイルスの影響を受ける以前のような地域活動に戻していくことを目標に開催の規模や時期などを各校園と相談しながら段階的に進めていきたいと考えています。また、事業に対する子どもたちの取組の意欲が高いことも生かせるように、実施できる新しい事業の検討やこれまでの事業を発展的に進めていきたいと思います。地域教育協議会の活動への理解と啓発を進め、地域の絆と協働による地域の活性化につながるよう取り組んでいきます。

めざす子ども像 **郷土を愛し 夢と希望をもち 自分自身に誇りをもって
未来を切りひらく子ども**

取組目標 学校を支援してもらっただけが目的ではなく、地域力の醸成や住民自身のやりがいを感じる場をつくり、地域と学校との間に良好（双方にメリット）な関係づくりをめざす。

【今年度の取組紹介】

本校は地域教育協議会を『コミュニティ・スクール』の四つの部会である「学び支援」「育ち支援」「地域連携」「学校評価」の実働組織である「地域連携」として位置づけ活動しています。部会は、学校の教育目標を学校・家庭・地域で共有し、組織的・機能的に運営していくことで職員、保護者、地域の協働意識を高めるとともに、生徒の抱かえている課題をそれぞれの立場で把握し、具体的な活動に取り組み、課題の解決に努めています。教員が子どもと向き合う時間確保のため、図書ボランティア、キャリア教育など教育課程内にも支援を広げています。



さまざまな実社会で経験を持つ大人が工夫を凝らした授業を展開することにより、子どもだけでなく教員も課題解決力の向上や、明確な教員としての目的意識・責任感を養うことにつながっています。今年度も、新型コロナウイルス感染予防のため活動の制限はありましたが、地域の清掃活動に参加し、地域の方々との活動を通して、社会性やコミュニケーション能力を育み「生きる力」を培ってきています。またキャリア教育として様々な業種の方にお話をいただいたり、企業勤務経験者などの地域住民に面接官として進路に向けた面接練習をしていただいたりすることで勤労観・職業観を養い、社会自立をしていくことに対する目的意識を持たせることにつながっています。



【今年度のまとめ】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染防止対策を講じて学校内での「ゲストティーチャー」や「面接指導」等に地域の方々に来て頂き、実施することができました。地域の方々には、教員とは違った視点からたくさんのお話を子どもたちに伝えて頂き、子どもたちの学びを支えて頂きました。コロナ禍の中、できることを模索し、その結果として地域の清掃活動や図書ボランティアの方による学校図書館の整備など少しずつではありますが、活動することができました。今後も状況に応じて、新しい形も考えながら計画・実施していきたいと思います。

【来年度に向けて】

これまで培った地域コミュニティでの協働体制を大切に、子どもたちのため、学校や地域のために活動することを通して、『みんなで支え、みんなで育てる』と同時に『学校・地域のみんなが育つ』ための核となる組織づくりを目標にさらに取り組んでいきます。

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、**自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標

世界にはばたく世界で生きる椿井っ子**【今年度の取組紹介】**

奈良市の中心部に位置し、多くの寺社や観光名所が校区内にある本校は、長い歴史と伝統を有する学校であり、地域の方の愛校心が強く、また学校教育に対する関心も高い地域です。そのため何事にも協力的です。こういった素晴らしい環境や地域の教育力を生かし、自分たちのまちに誇りをもつとともに、積極的に活動し、表現や発信のできる児童の育成を目指して取組を進めてきました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の流行下で、活動にも様々な制限がありましたが、できる限り今までの取組を踏襲する形で事業を進めました。今年度は行事等を精選しながら活動を行ってきました。学校地域支援事業においては、人・モノ支援センターの皆様の協力を受け、盲導犬学習を行いました。郷土学習事業雅楽鑑賞学習では、地域で活動している方に来校していただき、本物の雅楽を鑑賞して郷土に伝わる芸術を学ぶ機会を設けることができました。



雅楽鑑賞学習

【今年度のまとめ】

学校の教育活動に非常に協力的な地域の方々に支えられて取組を進めていくことができました。コロナ禍で非常に制限の多い中でも、感染拡大防止策を講じながら活動することができました。環境整備事業においても、学校や地域を大切に思う方々の存在に子どもたちが改めて気づき、感謝する気持ちを育てることができました。

【来年度に向けて】

来年度は、今まで続けてきた取組の見直しを行い、継続を基本線として可能な範囲での精選を検討していく予定です。これまで協力していただいた地域の方々を大切にしながらも、新たな地域人材の活用など取組をより発展させ、本校の教育目標の達成を図れるようにしていきたいと考えています。

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望を持ち、自分自身に 誇りをもって、未来を切りひらく子ども

取組目標

夢を持ち、夢を語り、夢を叶えるたくましい子どもを
育てる大宮アクション
～進めよう 学校・地域・家庭の連携～

【今年度の取組紹介】

◆ 図工サポート・家庭科サポート

今年度は新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで、7月から2月にかけて図工サポートや家庭科サポートという新たな取組を行いました。

図工サポートでは、児童がカッターナイフ・のこぎり・彫刻刀や電動糸のこぎりを使う活動の時に、児童の安全確保と学習支援のために来ていただきました。のこぎりや彫刻刀などは普段から使う機会がなく、不慣れな児童が多いため大人の目がたくさんあることで児童の怪我防止になりました。

また、家庭科サポートでは、ミシンを使う裁縫や包丁を使う調理実習の時に同じく児童の安全確保と学習支援のために来ていただきました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症のため調理実習ができなかったため、5・6年生共に初めて包丁を使う児童が多く、各班に入っていた家庭科サポーターさんは非常に心強いサポートになりました。この支援体制が大宮小学校の強みであると思います。



【今年度のまとめ】

オンラインを活用した「子ども未来会議」、夏休み中の「おおみや未来塾」、そして年間を通しての図書室の環境整備や校内の環境整備など、地域の皆様の支援をいただきながらたくさんの取組を実施することができたことに感謝で一杯です。この地域と学校の繋がりが「郷土を愛し、夢と希望を持ち、自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども」の育成に大切な役割を果たしていると思います。

【来年度に向けて】

地域ボランティアの方々の高齢化に伴い、新しいボランティアの発掘が今後もまだまだ必要になります。学校ホームページ等様々な方法を用いて情報を発信し、さらなる協力者を募っていきたく思います。そして、コロナ対策やコーディネーターさんの負担軽減などをまだまだ検討していく必要があります。

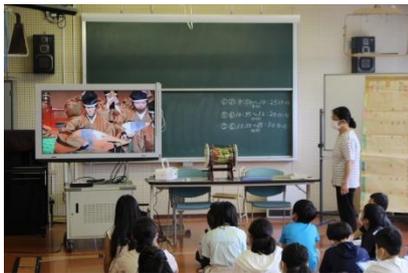
めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望を持ち、**自分自身に誇りを持って、未来を切り開く子ども**

取組目標

自尊感情をもち、地域・仲間とつながって健やかに生きる児童を育成するための地域教材や人材を生かした取組の充実**【今年度の取組紹介】**

本校の取組の特色の1つであるのが、「雅楽体験」を取り入れた音楽教育を活用した教育活動です。南都楽所の杉浦孔子先生を講師に招き雅楽体験学習を行いました。雅楽について映像を見たり、雅楽の楽器を演奏したりしました。日本の伝統芸術文化を体験できる貴重な機会になっているのはもちろんですが、大西小の伝統を受け継ぐ誇りを感じ、地域仲間とつながる思いを味わうことができていました。



今年度は本校の前を流れる佐保川とその自然環境をテーマにした「佐保川環境学習（リバーウォッチング）」にも取り組むことができました。まだまだ色んな行事に制限がある中ですが、地域の方々と共に行う「佐保川清掃」・「河川植樹」活動も行いました。「わが町を流れるふるさとの川を大切に思う心」を育むことができ、「大好きな大西小を誇りに思う心」の育みにつながっていることを実感する取り組みとなりました。1月9日（祝）には、第10回校区成人式（20歳を祝う会）を行うことができました。今年度も短時間で密にならないように内容でしたが、新成人にとって少しでも成人の門出になる行事になるように恩師も駆けつけてくださいました。

【今年度のまとめ】

With コロナで、少しずつ活動は戻りつつありますが、まだまだ、限られた活動となりました。本来なら、豊富な行事に学年間で参加体制を調整し、地域の環境保全の取組や行事を各学年の教育課程に効果的に組み込んで実施する予定でした。美しい佐保川の川辺で四季を通じて集えるのは、「佐保川清掃」をはじめとする日頃の様々な取組があつてのことということ改めて感じました。

また、第10回目を迎えた校区成人式（20歳を祝う会）では懐かしい校舎に集い、和やかなひとときを過ごしました。

【来年度に向けて】

コロナ感染予防と活動再開とのバランスを取るのがなかなか難しい状況ではあります。また、地域の高齢化などに伴い、地域人材の確保が厳しくなっている状況があります。地域コーディネーターさんに協力していただきながら「地域ボランティア募集」の呼びかけを充実していき、人材確保をしたいと思います。また、各取組を今後も継続して無理なく充実させていく上でも、地域・学校・家庭の3団体が熟議を重ねながら、より効率的かつ効果的な事業となるよう、今後も検証・改善を行い、地域・学校・家庭が一体となり、『ふるさとを誇りに思い、大切に思う心』を育てていきたいと考えています。

めざす子ども像 **郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇りをも**

って、未来を切りひらく子ども

取組目標 **地域にある自然環境や文化的歴史遺産、さらには、地域の豊かな人材を活用しながら、心豊かで人や物にやさしく、地域を愛する子どもを育む。**

【今年度の取組紹介】

< あたたかさ生き物 >

佐保川小学校の校庭の樹木や佐保川周辺の動植物を4年生が学ぶため、奈良・人と自然の会の方に来ていただきました。校庭の樹木の名前や種子の秘密、珍しいジャコウアゲハやウマノスズクサについて実物を見ながら詳しく教えていただきました。また、種子の模型や発芽したドングリを子どもたち一人一人に用意していただき、子どもたちは興味を持って学習に取り組むとともに特徴をしっかりと理解することができました。自分たちの身近にある自然環境について学ぶことで環境を守る活動として、また地域を愛する子どもを育む活動となりました。



< 防災学習 >

佐保川地区自主防犯防災会の方の協力のもと、5年生が防災学習に取り組みました。防災士さんにお話をしていただき、地震などの災害の恐ろしさや自分たちができることで減災に取り組むことの大切さを教えてもらいました。また、本校運動場に設置されている奈良市と地域の防災倉庫の中を見せていただいたり、体育館で簡易テントや災害時のトイレの仕方などを教えていただきました。災害に備えるために自分たちにできることは何かをしっかりと考えることができました。



【今年度のまとめ】

佐保川清掃や佐保川への「ホタルの幼虫の放流」、保護者の方による図書室の環境整備や図書修繕は今年度も取り組むことができました。コロナ禍で中止されていた「おはなしせんと会による絵本の読み聞かせ」「平城宮跡でのマラソン大会」「とんど焼き」、地域の方に教えていただく「昔遊び」と「伝統音楽と楽器の学習」も実施することができました。今年度より新しく「あたたかさ生き物」（本校や佐保川周辺の樹木や生き物を学ぶ）を奈良・人と自然の会の方に、「ギコギコとんとんクリエイター」（のこぎりの使い方を学ぶ）を地域の工務店の方に、「防災学習」を佐保川地区自主防犯防災会の方をお願いして、学習することができました。

【来年度に向けて】

体験的な活動を通して、地域の方々と触れ合い、佐保川小学校の校区を愛し、地域に誇りをもつ子どもの育成を目指したいと考えます。

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、 自分自身に誇りをもって、未来を切りひらく子ども

取組目標

地域の人材や教育力をいかした多様な体験活動を進めながら、人と関わる楽しさを感じ、豊かな感性やたくましい心を育む取組の充実

【今年度の取組紹介】

《体力づくり事業より》

子どもの実態と昨年度の課題を踏まえ、体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるよう「げんきっこクラブ」のゲストティーチャーの方と内容についてその都度話し合う機会をもつようにしました。担任も、子どもの興味や保育者の思い等を伝えることで活動で取り組んだことを好きな遊びの中でも取り入れ、自分達で巧技台を運んでコースをつくり友達同士で挑戦する等、主体的に体を動かして遊ぶ姿が見られるようになりました。運動遊び参観では、保護者の方に観ていただき、活動を知っていただく機会となりました。その後も縄跳びやサッカー、中あて等活動で教えていただいたルールを守り友達と継続して遊んでいました。



《環境整備事業より》

ボランティアの方を募り、年間計画に位置付けて園庭や芝生、花壇等の整備をしていただきました。夏には、芝生で裸足になり水遊びを楽しみ、「裸足で遊んだら気持ちがいい！」と喜び、整備をしていただいた際に「ありがとうございます」と声をかける子ども達の姿も見られました。また、花壇に四季折々の花を植えていただくと「何のお花、植えてるの？」「芽が出てきたよ」と関心をもつ子が増え、豊かな感性を育むきっかけとなりました。花壇に来るチョウチョや芝生に来るバッタ等を捕まえたり、落ちた花びらを使ってごちそうづくりや色水遊びをしたりと、遊びの充実にもつながりました。



【今年度のまとめ】

今年度は内容を工夫することで、すべての活動を実施することができ、多様な経験をすることができました。地域の方ともたくさん触れ合うことができ、コミュニケーション力を高めることにもつながりました。また昨年度の子どもの実態と課題を受け、特に体力づくりに重点をおき、ゲストティーチャーの方と実態や保育者の思い等の情報交換を行ったことで、活動と日々の遊びとがつながっていき、子ども達にとって活きた体験となり、体を動かして遊ぶ楽しさを味わいながら、たくましい心や体を育める成果が見られました。

【来年度に向けて】

子ども達にとって充実した体験活動を継続していくことで、子ども達に身につけていきたい力が培われていくと思われれます。今まで取り組んできた園のねらいや成果、課題を明確化し、移管先の法人に伝え、子ども達の育ちが途切れてしまわないように努めていきたいと思ひます。

めざす子ども像

郷土を愛し、夢と希望をもち、自分自身に誇**りをもって、未来を切りひらく子ども**

取組目標

- ・子どもたちの興味・関心に基づいた直接的・具体的な体験活動の実施
- ・子どもが主体的に活動できる環境の構成

【今年度の取組紹介】

〔子育て支援事業〕

民生委員・地域コーディネーターの方々にお力をいただきながらの未就園児保育。来年度から民間移管となることを見据えて移管先法人の先生にも一緒に取り組んでいただきました。毎回一緒に自由に遊んだり、カレンダー制作をしたり、リズム遊び・戸外遊びをしたりする中で、『顔見知り』が増え、新しい園への期待が膨らみました。

〔学習支援事業〕

音楽鑑賞会として地域の方による『演奏会』をしていただきました。オルガン・アルトサクソ・ドラムで、アニメソングや運動参観でのダンス曲、園歌やジャズまで、様々な曲を演奏してくださいました。子ども達も、マラカスやスズを使ってリズムに乗り楽しみました。演奏が終わった後も楽器を触らせていただき、音の出し方や楽器の面白さを教わり、帰りには楽器を習いたいという子どもも出てきました。とても貴重な体験となりました。



【今年度のまとめ】

園外の方との交流が、中々叶わなかった日々がありましたが、栽培活動でゲストティーチャーとして、土づくりから収穫までを、優しくご指導くださったり、民生委員さんがポン菓子実演に来てくださったり、「もうそろそろ刈り時じゃないか？」と園庭の草刈りをしてくださいました。

体操教室・チャレンジクラブでたくましい体を。お話し会や生け花教室、プレハローイングリッシュで豊かな感性を。自然豊かな環境の中で心動かす体験を。物的にも人的にも恵まれた環境の中で、子ども達は安心して学びに向かうことができました。形は変わっても、今後も『地域の中の園』として、保護者や地域の方々にご理解・ご協力いただける園であり続けたいと思います。

【来年度に向けて】

地域の方や保護者の思いもあり、一年間共に活動に取り組まれた移管先法人も、事業の継続を予定しています。今年度の成果や課題を受けて、回数や内容の精選をしながら進めていくため、引き続き地域の方や保護者のお力をいただきたいと思います。